

平成30年度行政事業レビューシート ( 総務省 )

<b>事業名</b>	政党助成事務委託			<b>担当部局庁</b>	自治行政局選挙部		<b>作成責任者</b>			
<b>事業開始年度</b>	平成7年度	<b>事業終了(予定)年度</b>	終了予定なし	<b>担当課室</b>	政党助成室		室長 後藤 友宏			
<b>会計区分</b>	一般会計									
<b>根拠法令</b> (具体的な条項も記載)	総務省設置法 第4条第38号 政党助成法 第32条第3項・第5項、第38条			<b>関係する計画、通知等</b>	政党助成事務委託要綱					
<b>主要政策・施策</b>	-			<b>主要経費</b>	その他の事項経費					
<b>事業の目的</b> (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	都道府県の選挙管理委員会における、政党の支部から提出された政党交付金にかかる支部報告書、支部総括文書及び監査意見書の保存・閲覧									
<b>事業概要</b> (5行程度以内。別添可)	都道府県の選挙管理委員会は、政党交付金の支出の公明と公正を確保するため、政党の支部から提出された政党交付金にかかる支部報告書、支部総括文書及び監査意見書を保存及び閲覧に供することとされている。この事務は性質上、もっぱら国に利害のある事務として位置づけられ、それに要する経費については、地方財政法第10条の4に規定する経費として国庫が全額措置すべきものであるため、委託費として各都道府県に直接交付するもの。									
<b>実施方法</b>	委託・請負									
<b>予算額・執行額</b> (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度要求			
		補正予算	-	-	-	-	-			
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-			
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-			
		予備費等	-	-	-	-	-			
		計	24	24	24	24	24			
	執行額	21	21	22						
	執行率(%)	88%	88%	92%						
	当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%)	88%	88%	92%						
<b>平成30・31年度予算内訳</b> (単位:百万円)	歳出予算目	30年度当初予算	31年度要求	主な増減理由						
	政党助成事務委託費	24								
	計	24	24							
<b>成果目標及び成果実績</b> (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	27年度	28年度	29年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度	
			成果実績	-	-	-	-	-	-	
			目標値	-	-	-	-	-	-	
			達成度	%	-	-	-	-	-	
<b>根拠として用いた統計・データ名</b> (出典)	-									
<b>成果目標及び成果実績(アウトカム)欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙1】に記載</b>								チェック		
<b>定量的な成果目標の設定が困難な場合</b>	<b>定量的な目標が設定できない理由及び定性的な成果目標</b>	定量的な目標が設定できない理由			定性的な成果目標と27~29年度の達成状況・実績					
		当該事業は、支部報告書等の保存・閲覧等の実施により、政党交付金の支出の公明と公正の確保を図ることに寄与するためのもので、各都道府県の選挙管理委員会に提出された全ての支部報告書等の保存・閲覧が法令の規定に基づき遺漏なく行われているか否かが成果目標であるため。			各都道府県の選挙管理委員会に提出されたすべての支部報告書等の保存・閲覧が法令の規定に基づき遺漏なく行われているか否かが成果目標である。なお、その達成度については、結果報告等を通じて確認している。					
<b>事業の妥当性を検証するための代替的な達成目標及び実績</b>	代替目標	代替指標		単位	27年度	28年度	29年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度	
	政党の支部から提出された政党交付金に係る支部報告書等を閲覧に供すること	政党の支部から提出された政党交付金に係る支部報告書数	実績	件	1,065	993	1,047	-	-	
			目標値	件	1,065	993	1,047	-	-	
			達成度	%	100	100	100	-	-	
<b>活動指標及び活動実績</b> (アウトプット)	活動指標		単位	27年度	28年度	29年度	30年度 活動見込	31年度 活動見込		
	政党の支部から提出された政党交付金に係る支部報告書数	活動実績	件	1,065	993	1,047	-	-		
		当初見込み	-	-	-	-	-	-		
<b>単位当たりコスト</b>	算出根拠		単位	27年度	28年度	29年度	30年度活動見込			
	22,029,075 / 47 ≒ 468,704 (執行額/都道府県選挙管理委員会数)	単位当たりコスト	円	452,320	449,169	468,704	-			
		計算式	円/47(団体数)	21,259,054/47	21,110,988/47	22,029,075/47	-			

政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	政策											
	施策											
	測定指標	定量的指標			単位	27年度	28年度	29年度	中間目標	目標年度		
						-	-	-	-	-	-	-
					実績値	-	-	-	-	-	-	-
					目標値	-	-	-	-	-	-	-
		定性的指標		目標		目標年度	施策の進捗状況(目標)					
					-	施策の進捗状況(実績)						
					-							
	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係											
-												
経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	改革項目	分野:	-									
	(第一階層) KPI	KPI (第一階層)			単位	計画開始時	29年度	30年度	中間目標	目標最終年度		
						-	-	-	-	-	-	-
					成果実績	-	-	-	-	-	-	-
					目標値	-	-	-	-	-	-	-
				達成度	%	-	-	-	-	-	-	
	(第二階層) KPI	KPI (第二階層)			単位	計画開始時	29年度	30年度	中間目標	目標最終年度		
						-	-	-	-	-	-	-
					成果実績	-	-	-	-	-	-	-
					目標値	-	-	-	-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-	-	-	-		
本事業の成果と改革項目・KPIとの関係												
-												

事業所管部局による点検・改善

	項目	評価	評価に関する説明
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	当該委託事務は、政党交付金の支出の公明と公正を確保するため、都道府県の選挙管理委員会が行うものと法定されており、広く国民のニーズがあり優先度が高い事業であると考えている。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	同上
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	同上
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	-	
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	無	
	競争性のない随意契約となったものはないか。	無	
	受益者との負担関係は妥当であるか。	○	平成22年度における行政事業レビューの結果を受け、各都道府県の選挙管理委員会における執行状況を踏まえた委託事務の内容を見直したことにより、積算単価の見直し及び委託費総額の減額を行ったところであり、コスト水準や負担関係、費目・用途につき、妥当であると考えている。
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	同上
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-	-
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	同上
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	○	不用率の高低に関わらず、当該事務委託費に返納が生じた場合には、当該都道府県より費目毎に理由を徴している。
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-	
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	-	-	
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	-	-
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-	-
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	-	平成23年度より、上記見直しを踏まえた各都道府県における事業計画の策定及び委託事務の執行がなされていることから、適切な成果目標に基づく見込みに見合った活動実績があったものと考えている。
整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-	-	

関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-
	所管府省名	事業番号	事業名
点検・改善結果	点検結果	政党助成事務委託費については、適切な事業計画の策定と円滑な執行を求めるとともに、委託要綱の定めに基づき、具体的な委託費の執行に留意するよう各都道府県選挙管理委員会あて事務連絡を発出しているところ。	
	改善の方向性	引き続き各都道府県から提出された交付申請や精算結果報告書の確認を行うとともに、適切な事業計画の策定と円滑な執行を求めている。	

**外部有識者の所見**

特に問題は無い。(北大路教授)

**行政事業レビュー推進チームの所見**

現状通り

引き続き適正な予算執行に努めること。

**所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況**

現状通り

引き続き適正な予算執行に努める。

**備考**

**関連する過去のレビューシートの事業番号**

平成22年度	163	平成23年度	164	平成24年度	156	平成25年度	181
平成26年度	172	平成27年度	168	平成28年度	167		
平成29年度	総務省 ( 0166 )						

※平成29年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
(単位: 百万円)

**総務省  
22百万円**



**47都道府県選挙管理委員会  
22百万円**

〔 各都道府県選挙管理委員会において  
支部報告書等の保存・閲覧事務等を実施 〕

